



11月の園だより

社会福祉法人 であいの里 さやま保育園
2022年11月1日

保育目標 領解 ころろがけます

- ・約束やルールのある遊びを友だちと一緒に楽しむ。
- ・秋の自然物を使って、工夫したり、考えたりしながら作ってみる。

今月の行事予定

- 14・21・28日 礼拝 2日 避難訓練
- 4日 以上児園外保育（手作り弁当／雨天9日）
- 7日 起工式 10日 交通教室・奉仕作業
- 8日 さんまクッキング 発育測定（15日うさぎもも 16日ほしいちご 17日あひるひよこ） 16日園説明会
- 16日 クッキー作り 18日 誕生会
- 21日～25日 未満児作品展 22日消防イベント
- 26日 集金引落 ※6日 佐山ふるさとまつり



【法話】 よい心

夏の暑さがウソのように、涼しさを乗り越えて肌寒さを感じるようになりました。新型コロナウイルス感染症は、新規感染者は全国的に減少傾向ではありますが、インフルエンザの流行も予想され、気を緩めず、引き続き感染予防対策をしていきたいと思えます。季節の変わり目、体調の変化に留意しながら、実りの秋に、一回り大きく成長して頂きたいと思っています。

10月の園だよりでは、私たち人間の心は、地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上の六つの迷いの心が、次から次へとわきおこってくることを書きました。この六つの悪い心は、死ぬまで決して私の心から、なくなることはありません。でも、仏さまの教えを一生懸命に聞くと、仏さまのよい心が、私の悪い心をつつんでくださいます。仏さまのよい心とは、

しょうもん
声聞の心（正しい教えを一生懸命に聞く心）

えんがく
縁覚の心（正しい道理をわきまえて反省する心）

ぼさつ
菩薩の心（みんなのことを考える心）

ぶつ
仏の心（私たちすべてのものを救わずにはおかないと誓われた阿弥陀さまのような心）
の四つです。

仏さまのよい心をいただいて、私の悪い心がそれにつつまれていても、縁にふれば、やっぱり悪い心がニョキッと顔を出してしまいます。仏さまのよい心につつまれてありがたい、そして悪い心に、お恥ずかしい、ごめんなさい、の

かんしゃ と ざんぎ
「感謝」と「慚愧」の生活をさせていただきたいものです。

合 掌

【地域に育まれて】

10月11日（火）は、もも組のみんなが楽しみにしていた「おいもほり」。佐山東の山田さんにお世話になって、大きなおいもがたくさん掘れて、もも組だけでクッキングしたスイートポテトはとても美味しかったとのこと。10月14日（金）は、ほし・いちご組が、須川のみなさんにお世話になって、もも組に負けない大きなおいもが玄関いっぱいになりました。畑一面のさつまいもと戦った45人の子どもたちの姿を思い浮かべながら、保護者の方もおいもを持って帰り、ご家庭でいろいろな料理に変わって美味しくいただいたお話をたくさん聞かせていただきました。

春から土を作り、子どもたちがツルをさす畝作り、除草など、子どもたちの楽しみないもほりのために、畑の準備をしていただいています。こういった地域の方々の力強い支えや応援につつまれて、子どもたちは、すくすくと育てられています。

10月28日（金）は、秋晴れのもと風もなく、子どもたちがおいもを洗いアルミ箔で包み、すくもで朝から焼き芋を作らせていただきました。近所の方々には、朝から迷惑をかけたことだと思えますが、子どもたちにとっては風で動く煙も、火の中から焼き芋が出来るのも不思議な体験でした。何よりの体験は、ほっぺが落ちるような、焼き芋の香り、甘さ、美味しさです。地域の温かさ、自然のめぐみ、そんな中で子どもたちがいのちを輝かせる体験が出来ることに、感謝の思いでいっぱいです。

